



絵本と出会う大切さ

子育て講演会

2月20日(金)、「絵本で広がる子どものえがお」と題した子育て講演会を日野公民館で行いました。講師の徳永満理さんは兵庫大学短期大学部講師でご自身も絵本作家としてたくさんのお絵本を出版されておられます。

今回の講演も子ども向けに絵本を読みながら「幼児期の子どもにとって絵本は友だちのようなもの。歌や動きを入れながら親子で楽しく関わってほしい。絵本を読むことは、生きた言葉を伝えることである」と熱心にお話しされました。

参加された方からは「絵本を読んであげることの大切さがわかった」「これから絵本をたくさん読んであげようと思いました」と絵本の大切さを実感された感想が多く寄せられました。



▲絵本を読みながら、講演されました

卒業式で6年間の思い出に花咲く

必佐小学校で卒業生がホイノポリ作り

2月13日(金)、17日(火)、24日(火)の3日間、必佐小学校で、平成26年度の6年生児童が自分達の卒業式を彩るホイノポリを製作しました。

この取り組みは、日野ならではのホイノポリをみんなで協力して作り、小学校最後の思い出にしようという行われ、今年で5年目になります。必佐地区には八千鉾神社の春の例祭でホイノポリを奉納する習わしがあり、作り方や歴史をよく知る野邊見一さん(増田)が毎年講師を勤めておられます。

児童の皆さんは「卒業式で毎年見えていたが、6年生が自分で作っていることを知りませんでした」「自分の卒業式で飾られるのをしっかりと見届けたいです」と話されていました。



◀細かな作業を一つずつ教わりました



▲組み立てると満開の花が咲きました

学校にオーケストラがやってきた

桜谷小学校で山形交響楽団の公演会

2月25日(水)、桜谷小学校で山形交響楽団の皆さんによるオーケストラ公演が行われました。

体育館の約半分のスペースにフルオーケストラが勢揃いし、ハーブなど珍しい楽器も間近で見ることができました。この公演をひと目みようと体育館には、保護者等地域の方や南比都佐小学校の3・4・5年生も訪れ、体育館いっぱい響くハーモニイを聞き入りました。公演では、楽器の紹介や動物をテーマに作られたオリジナル曲を聞き、テーマとなった動物をあてるクイズなどが行われ「おもしろい」と大好評。また、オーケストラ演奏による校歌を歌ったり、児童も一緒になつてりコーダーやピアノ二力で演奏したりと貴重な経験となりました。

◀ホルンの管の長さをゴムホースで表し、鳴らしてみせるなど、驚きと発見の連続でした



体育館にいるみんなで「さんぽ」を演奏。見事な音色が響きました



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当
☎6550(役場1階・町長懇談室)までお知らせください。
皆さんからの情報をお待ちしています!!



▲熱心に講演を聴く参加者の皆さん

地域の本当の価値を

地域づくり講演会

2月27日(金)、日野公民館で三方よしー近江日野田舎体験推進協議会の主催で地域づくり講演会「体験学習が求められる社会的背景と地域資源の再発見の手法を学ぶ」が行われました。

岩手県の遠野市でグリーン・ツーリズムを推進されているNPO法人の菊池新一会長を講師に招き、町で民泊を受け入れられている方など約60名が熱心に耳を傾けました。講演では「イギリスへ研修に行ったとき『あなたはラッキーだ。なぜならここはイギリスで一番良い村なんだ』と言われた。グリーンツーリズムというのは目的ではなく私達が自分の地域を心から誇れるための手段」と熱くお話しされました。

日野の魅力 空き家を知る

「空き家見学ツアー」を実施

3月1日(日)、「三方よしー近江日野田舎体験 空き家見学ツアー」を開催し、子ども連れの家族など38名が参加されました。ツアーでは、「日野町空き家情報登録制度」に登録されている3物件の見学と、移住者との交流がありました。交流では、古民家カフェ「らっこや」の五百木祥子さん・誠さん、西明寺在住の二木泰樹さん・茂代さん、大窪在住のモーア・オースティンさんの3組から、体験談をお話しいただきました。

参加者からは「これからの移住を考える上で、検討する地域の一つになった」といった感想が寄せられ、日野の魅力を感じてもらえる機会となりました。



▲日野に移住してこられた方と参加者の対談

青年がまちで活躍し、輝いていこう

日野町連合青年会60周年セレモニー

3月1日(日)、わたむきホール虹で日野町連合青年会の60周年記念セレモニーが開催されました。

連合青年会は現在6名の会員で、日野町民駅伝大会など町を元気にする事業を行われています。

増田早紀会長は「地域に根ざした活動を行い、地域を活性化していくことは青年の役割。60周年を新たなスタートにしていきたい」と話されました。

セレモニーには連合青年会の60年を支えてこられた方々約100名が集まり、歴史を振り返り、思い出を語り合っておられました。

◀披露された「よさこい踊り」



▲会長の式辞を多くの方がうなずきながら聞いておられました



身近なできごとや旬の話題を、
企画振興課秘書広報担当
☎@6550(役場1階・町長懇談室)
までお知らせください。
皆さんからの情報をお待ちしています!!

ま Town Topics ちのわだい



皆さんの笑顔と雛人形がお出迎え

日野ひなまつり紀行



- ▲下鍛冶町の会議所で飾られた卵びな(左上)
- ▲人力車から町並み散策
- ◀村井の会議所でひなまつり御膳を味わう皆さん

2月8日から3月8日までの1か月間、大窪から村井・西大路にかけての一带で日野ひなまつり紀行が開催されました。今年で8回目となる日野ひなまつり紀行は、各家庭や街角など約200か所に飾られたお雛様が訪れた方を出迎えました。村井の会議所では日野の伝統料理を継承する会の皆さんがお食事処を設けられ、たくさんの方が手作りの料理を堪能されていました。また、下鍛冶町の会議所では、卵の殻で作られたお雛様「卵びな」の展示や合槌の会の皆さんによる厄除けの「ほいざる」製作が行われていました。訪れた方は「素敵なお雛様です」と日野町で過ごすひなまつりを楽しんでおられました。

和やかなひとときを

南比都佐公民館でひなまつりイベント



▲お茶席とコンサートでゆっくりと時が流れます

3月1日(日)、南比都佐公民館でひなまつりイベントが行われました。イベントでは、公民館の子ども塾で学んだ子どもによるお茶席や琴の演奏が行われました。地域にお住まいのひとり暮らしの方が招待され、子ども達や地域の方と交流しました。用意された100枚のチケットがすべて完売するなど、たくさんの方が公民館に集まり、和やかな時間を過ごされました。イベントには、文化琴サークル「むらさきの」の皆さんとミゲル・リマさんによるポリアリア民俗楽器のコンサートも行われ、やわらかな音色がホールを包み込みました。

心あたたまる 善意のお米

2組の米袋が届く



▲役場ロビーに展示した善意のお米

3月3日(火)、日野町役場玄関前に30kg入りの米袋4袋と3袋の2組が同時に届けられているのを出勤した職員が見つけました。町には、これまで昭和52年ごろから毎年のように年末に善意のお米として米袋が役場玄関前に届けられていました。今回の送り主は、これまでの方と同じ方かどうかは分かりませんが、年度末にお届けいただいたあたたかい善意に感謝し、日野町社会福祉協議会を通じて福祉関係施設などに届けました。お届けいただいたお米は10日間、役場玄関ロビーに展示し、町民の皆さんに披露しました。善意の送り主さま、ありがとうございました。